

## 「未来へつなぐ新見の林業会議」推進への取組について

### 1 テーマの趣旨・目的

森林資源に恵まれた新見市であるが、少子高齢化が進行し、世帯あたりの人数も減少傾向で、核家族化や単身世帯の増加が進行していることや、標準伐期齢を迎えた人工林が90%を占めている。

こうしたことを背景に、利用期を迎えた豊富な森林資源を計画的に利用し、継続的な森林整備を行いながら、森林の持つ多面的機能が発揮されるよう、市民と連携し長期的視点に立って取り組むため、令和5年3月に「新見市森林ビジョン」が策定され、森林・林業に係る現状に対し各種施策の推進を図ることとされた。ビジョンの推進組織は、行政、市民、森林所有者、森林組合、林業事業体等で構成される、「未来へつなぐ新見の林業会議」が、市の森林づくりに理解・賛同し、連携・協働しながら、各種取組を推進することとされ、我々が構成員として当初より働きかけを行っていることについて記述する。

### 2 現状及びこれまでの取組の成果・課題

#### (1) 現状

「未来へつなぐ新見の林業会議」は、ビジョンのテーマに沿った、「担い手対策部会」、「木材利活用部会」、「森林整備部会」の3部会で構成され、地域森林課から、構成員を配している。

#### (2) 取組内容

「担い手対策部会」では、就業者の確保、若返りをIターン、Uターンにより確保することや、高梁川上下流の交流・連携について検討している。

「木材利活用部会」では、県南部への木材利用のPR、木質バイオマスの推進、小学校等への木育の導入の働きかけ、新見産材の販路開拓、森林環境譲与税の有効活用、公共建築物への木材利用の推進、建設業協会、建

築士会等との意見交換、などについて検討した。

「森林整備部会」では、森林機能の維持増進と山地災害の予防について協議を行い、施業前の境界確認時の問題点や、災害防止のための作業路の排水対策やその現地研修会の検討、森林整備に起因する労働災害の防



【担い手対策部会】



【木材利活用部会】



【森林整備部会】

止、などについて検討し、森林経営管理制度提出後の動向調査・助言を行った

### (3) 成果

各部会において、ホームページでの情報発信や、新見の林業を紹介するパンフレットなどの作成及び、公共施設への新見産材利用の促進、地域消防と連携した



【林業パンフレット「NIIMI FORESTRY」】

労働災害発生時の対応についての研修会を実施した。



【地域消防と連携した研修会】

### (4) 課題

森林境界の明確化や森林経営管理制度の実施、森林環境譲与税及びおかやま森づくり県民税を財源とする事業の実施状況の確認など様々な問題解決が求められる。新見市や委託先の森林組合等に対して、両税の連携による事業実施の指導・助言等を行い、専門的な知識を有した職員の育成が必要である。

## 3 今後取組むべき内容

### ①具体的な手法又は検討方向

森林の保全や再生、木材の利活用や加工、地域経済や雇用の促進などについて引き続き議論を行う。

### ②理由

地元の林業関係者や専門家、地域住民の意見や要望を取り入れながら、将来の林業の活性化に必要な施策やプロジェクトを検討し、地域の林業や森林資源に関わる多くの人々が協力し合う貴重な場である。

### ③期待する成果

各種補助事業のほか、令和元年度から市町村への譲与が始まった森林環境譲与税などを活用した適正な森林の管理・保全が図られ、地域の森林資源を循環利用した、林業の成長産業化が実現される。